

県本部通信

Monthly
Zen-noh
Gunma

7
2024 July
No.266



This
month's
photo

JA全農ぐんま 花木流通センター
フラワーセンター ひまわり



©群馬県ぐんまちゃん



Contents

事業のうごき

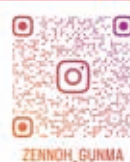
JAピックアップ！

インフォメーション

アートクッキング

農業チャレンジャー

花木流通センター便り



JA全農ぐんま
公式Instagram
情報発信中！
ぜひご覧ください



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



JA全農ぐんま
<https://www.zennoh.or.jp/gm/>



事業のうごき

畜産農産部

▶酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

▶米麦特産課

- 令和5年産民間流通麦引取推進
- 令和6年産民間流通・ビール大麦集荷推進
- 令和7年産民間流通麦播種前契約推進
「麦とろ麺」特別推進(推進目標5,000ケース)
(7月～9月)
- こんにゃく推進セット夏期特別推進
- こんにゃく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)

園芸部

▶園芸販売課

- 共計ホウレンソウ販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味ニラ販売 (周年)
- 共計県統一規格きゅうり販売 (7月末日迄)
- 共計バンダム販売 (7月末日迄)
- 共計にがうり販売 (9月末日迄)
- 共計県統一規格露地なす販売 (11月末日迄)

▶園芸総合対策課

- JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- GAP取組支援
- 園芸事業基盤再構築に向けた取組
- 園芸作物生産実証農場の運営

▶園芸資材課

- 夏用出荷資材予約・当用推進
(キャベツ・トマト・なす他)
- 青果物予冷库推進(パナソニック)
- ネポン暖房機第2期推進(第2期・7～9月)

- 廃プラスチック適正処理推進
- 秋まき用種子推進
(ブロッコリー・ほうれん草・きゅうり他)

生産資材部

▶肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 水稻農薬当用推進
- 園芸肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

▶担い手推進課

- 大規模・系統末低利用生産者への推進支援
- JAの出向く体制強化支援

▶農業機械課

- アグリマシフェア2024

7月13日(土)・14日(日)

▶施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

生活燃料部

▶生活課

- 蓄電池推進 (周年)
- シロアリ防除事業推進 (周年)
- JAタウン取扱品目拡大
- ペット火葬推進 (周年)
- 墓石事業取扱拡大推進 (周年)

▶石油課

- 夏のわくわくキャンペーン(7月16日～8月31日)

▶ガス課

- ガス・でんき新規獲得推進 (4月～3月)
- 給湯器燃料転換推進 (4月～3月)
- ガス器具推進 (4月～12月)
- JAでんき農畜産物プレゼントキャンペーン
(7月～2月)

イオンモール太田で 農畜産物フェス開催



JAグループ群馬は4月26日(金)から29日(月)までの4日間、イオンモール太田のリニューアルオープンに伴い新設されたイベントスペース「みらいガーデン」で、「JAグループ群馬農畜産物フェス」を開催しました。全農ぐんま・JAにっただより・JA太田市・JA邑楽館林による旬を迎えた野菜の販売やJAあがつまによる加工品販売、県食肉卸売市場によるキッチンカーでの上州和牛・上州麦豚販売が行われ、県産農畜産物を買求める多くの来場客でにぎわいました。

ビール大麦生産・流通対策会議



5月9日(木)、米麦特産課は群馬県稲麦研究センターで「ビール大麦生産・流通対策会議」を開き、各JA・群馬県・ビール会社の担当者ら28人が出席しました。会議ではビール大麦の円滑な流通に向けた意見交換が行われ令和6年産大麦の生育状況などが共有されました。会議終了後、JA前橋市・JA佐波伊勢崎・JA邑楽館林の3JA管内の圃場巡回が行われ各圃場においてもおおむね平年通りの生育状況であることが確認されました。



▲ 圃場巡回をする関係者ら

県内高校生角田さんが 「ぐんま野菜かるた」を制作



当県本部は5月下旬、地元高校生が制作した「ぐんま野菜かるた」を県内の小学校へ届けるためのクラウドファンディングに賛同し活動を支援しました。「ぐんま野菜かるた」は、群馬県の伝統野菜や特産品を題材としたもので、県内の私立校「ぐんま国際アカデミー」高等部2年の角田真優さんが野菜や農業に親しみを持ってもらうきっかけとなつてほしいとの思いから制作しました。5月中旬から6月末まで行われたクラウドファンディングでは、県内約300の小学校への寄贈のための印刷や配送に充てる費用50万円を募り、期間中に目標額を大きく上回る支援が集まりました。

肥料・農薬・資材基礎研修会



5月17日(金)、肥料農薬課はJAビルで「肥料・農薬・資材基礎研修会」を開催し、県内各JAの営農・資材関連の担当者ら32人が出席しました。肥料農薬課および土壌診断センター職員による農薬や土壌診断に関する基礎知識の講義が行われたあと、メーカーによる防除用散布ノズルの実践による紹介が行われました。出席者らは農家への適切な助言ができるよう、肥料や農薬に関する知識を深めました。

全農杯全日本卓球選手権大会 群馬県予選



全農杯全日本卓球選手権大会の群馬県予選が5月18日(土)、じょぶJOBジョブズ宮城体育館で開催され、県内75人の小学生が出場しました。当県本部は優勝者および準優勝者には、レンジアップごはん、入賞者全員に県産米「鶴の舞」5キロ、参加者全員に「こんにゃくゼリー」を提供し、選手たちにエールを送りました。大会では、学年ごとに3つの部に分かれて試合が行われ、上位入賞者は7月に開催される全国大会に出場します。



▲ホープス(5・6年男子)の入賞者ら

コンプライアンス推進 全体職員研修会



5月23日(木)、コンプライアンス推進課は「令和6年度第1回コンプライアンス推進全体職員研修会」を開催しました。伊藤本部長は労働災害や交通違反、ハラスメントについて触れ、「役職員行動規範に則って全職員が働き甲斐のある職場を目指していただきたい」と呼びかけました。また、一般社団法人安全衛生マネジメント協会の労働安全教材「ヒヤリハットガール」の動画視聴により、労働災害の発生防止に向けた意識を当県本部および関連企業職員全体で共有しました。

初級編TAC及び 営農・経済渉外活動研修会



5月22日(水)、担い手推進課はJAビルで「初級編TAC及び営農・経済渉外活動研修会」を開催し、県内各JAの営農渉外担当者および県本部職員ら13人が出席しました。研修会では、全農東日本営農資材事業所TAC・生産対策課によるTAC活動の概要や目的についての説明や、ウェルスコordinatorの渡辺浩子氏による「セールスコミュニケーション力の向上」と題した講義が行われました。出席者らは担い手農家への対応力強化に向けて必要となる資質を磨きました。

群馬県育成梅「ゆみまる」の初出荷



群馬県が育成した新品種「群馬U6号」が、5月下旬JAはぐくみ西部営農センターおよびJAはぐくみみさと梅選果場から県内の加工業者に向けて初出荷されました。豊かに実がなる丸いウメとして令和4年に「ゆみまる」と商標登録されており、豊産性と自家結実性が特徴のウメです。今後は県内の加工業者により「カリカリ梅」として加工される予定です。



▲収穫期の「ゆみまる」

アクセスはこちら！
[https://www.ja-town.com/
 shop/c/c3201](https://www.ja-town.com/shop/c/c3201)

農業チャレンジャー

農 チャレ

「想定外」への対応力を

温暖化にも負けない工夫

JA甘楽富岡管内茂木 啓さん

JA甘楽富岡



1

Profile

茂木 啓 (もてき・けい)さん

1977年生まれ47歳

栽培品目：枝豆……………100a
ハウレンソウ……………55a

趣味：テレビでのサッカーの観戦

—今回の農業チャレンジャーは、JA甘楽富岡管内で枝豆やハウレンソウを生産する茂木さんです。

—就農時期は？
22年前、25歳のときに就農しました。

—就農のきっかけは？
実家が兼業農家だったため農業は身近でした。大学は県外へ進学しましたが就職氷河期の最中での就職活動となったため、実家に戻り農業に従事することを決意しました。

—その後、いつ頃独立されたのでしょうか？
15年ほど前、父が高齢になってきたため独立をしました。就農当初はトマトや桃など様々な作物の栽培を経験しましたが、独立してからは圃場の土壌に枝豆が適していることがわかってきたため、枝豆の生産に力を入れています。

—就農されていかがでしたか？
うまくいく年、うまくいかない年、様々です。枝豆が小さいとクレームを受け、もともと栽培していた小さめの品種から大きめの品種へ変えたことで、思いがけず収量が上がったこともあります。予想外の事が多く苦労もありますが、そこがおもしろさです。

—一年間のスケジュールを教えてください
3月初旬に枝豆の播種、6月から9月頃まで枝豆の収穫。その後、10月頃ハウレンソウの播種を行い、11月から2月頃までハウ

レンソウの収穫を行います。

—収穫量は？
メインで栽培している枝豆は通常約300gを1袋とすると、7月上旬のピーク時にはそれを約400袋出荷します。

—心掛けていることは？
自分と妻2人で作業を担うため、綿密に予定を組んで作業しています。ですが、ここ数年の高温や日照りの影響で想定より早く生育してしまい、収穫が追いつかないうちに作物が傷んで、収量が激減する日もあります。そのため、収量のばらつきを見越して多めに播種することで、年間での収量のある程度安定することができるようになっています。

—どんな時にやりがいを感じますか？
自分の作った作物を我が子が美味しいと食べてくれたときや、直売所で販売した作物をお客さんが美味しかったとってくれることが嬉しくやりがいになっています。

—今後の展望をお聞かせください。
枝豆の収穫時期を徐々に伸ばしオールシーズンの出荷に近づけていきたいと考えています。鮮度の良い美味しい枝豆を年間を通してたくさんの消費者に手に取ってもらいたいです。

—厳しい気象状況の影響を受けながらも、美味しい枝豆を多くの人に届けようと奮闘する茂木さん、今後さらなる活躍が期待されます。



3

- 1 茂木さん
- 2 収穫した枝豆の脱莢作業を行う茂木さん
- 3 収穫したての枝豆

2

JAピックアップ! ✨

～JAの活動をご紹介します～

JA前橋市



▲ 園児たちとサツマイモ苗の定植作業を行う青年部員

月中旬には3月に青年部が定植したジャガイモの収穫体験も予定しています。

青年部が 園児とサツマイモ苗の植え付け

JA前橋市前橋青年部は、「食」と「農」の深いつながりを子どもたちに伝えるため、食農体験学習を例年実施しています。青年部は5月15日と5月24日、管内2カ所の幼稚園の園児を招待し、サツマイモ苗の植え付け体験を行いました。体験にはJA女性組織協議会員も参加しました。

体験前には、青年部の茂木秋臣部長が「今日は皆さんと一緒にサツマイモ苗の植え付け作業ができるのを楽しみにしていました。秋にはおいしいサツマイモが収穫できるよう、頑張って植え付けましょう」と園児たちに呼びかけました。

園児たちは、青年部員や女性協会員から植え方を教わりながら作業を体験。5aほどの畑に約500本の苗を植えました。サツマイモの品種は「紅あずま」。

青年部はサツマイモの生育を見守っていき、10月下旬頃に幼稚園の園児たちと収穫作業を計画しています。また、6

嬬恋高原キャベツ 初出荷を迎える

JA嬬恋村では6月6日から村内より嬬恋高原キャベツの初出荷が始まりました。

当日は、嬬恋村の東部に位置する今井地区より、はるかぜ200ケースが特産センター予冷庫に持ち込まれ、鮮度を保つため真空予冷された高原キャベツはトラックに積み込まれ、東京方面へと出荷されました。

いよいよ出荷シーズンを迎えた嬬恋村では、標高700mから1400mにある広大なキャベツ畑で、年間約1850万ケースのキャベツが全国各地の市場へ出荷されています。

昼夜の気温差により朝露を含んだ高原キャベツは、甘味が強く新鮮でシャキッとした食感が特徴で、収穫作業は夜中の3時から行われており、毎年10月末ごろまで全国の消費者の元へと届けられています。

JA嬬恋村



▲ 真空予冷されたキャベツ200ケース

みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は
変更になることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
たくさん食べよう！群馬のたまご ～たまごフェスタ2024～／養鶏協会	7月1日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※7月7日(日)	AM 8:00～ 8:30
旬なブルーベリーと夏野菜ズッキーニ／JA赤城たちばな	7月8日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※7月14日(日)	AM 8:00～ 8:30
玉ねぎ、ナス(案)／JA甘楽富岡	7月15日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※7月21日(日)	AM 8:00～ 8:30
県内畜産物の消費拡大(案)／食肉卸売市場	7月22日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※7月28日(日)	AM 8:00～ 8:30
キャベツ(案)／JA嬬恋村	7月29日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※8月4日(日)	AM 8:00～ 8:30



中村 柚貴子アナ

枝豆のアイスクリーム



Food adviser 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材 料

2人分

(1人分235kcal)

むき枝豆……………150g
プレーンヨーグルト……………50g
練乳……………15g
ハチミツ……………10g
グラニュー糖……………20g
牛乳……………100cc
オールスパイス……………少々
バニラエッセンス……………少々
レモン汁……………小さじ1
レモンの皮スライス(飾り用)……………適量
ミント(飾り用)……………適量

作り方

- 1むき枝豆をサツと茹でる。
- 2ボールに1の枝豆・ヨーグルト・練乳・ハチミツ・グラニュー糖・牛乳・オールスパイス・バニラエッセンス・レモン汁を加えハンドブレンダーで攪拌する。
- 32をジップロック等の食品保存袋に入れ冷凍庫で凍らせる。
- 43をボールに入れハンドブレンダーで攪拌する。
- 5器に盛りレモンの薄切とミントを飾る。

花木流通センター便り

開催日 7月13日(土)～14日(日)

内 容 アグリマシフェア2024出店



	営 業 時 間	定 休 日
花木流通センター	4・5月: 9:00～17:00 6～3月: 9:00～16:00	4月・5月: 無休営業 6月～3月: 毎週火曜日定休
みのり館	4～3月: 9:00～17:00	年末年始を除いて 無休営業
様名十文字うどん	4～3月: 11:00～14:30	



住 所 前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424

今が申込みのチャンス!!

JAでんき

2024年 7月1日 2025年 2月28日

新規申し込みキャンペーン

JAでんきを新規お申し込み頂いた方に!

群馬県食肉市場が厳選した上州牛が10人に1人で当たる!!

下記 A または B から1点をお選び下さい。

2024年11月と2025年3月が抽選月(2回)となります。※詳細は下記に記述。

ステーキに最適

A 群馬県産 上州牛サーロインステーキ2枚 (220g×2枚)

しゃぶしゃぶとすき焼きに最適

B 群馬県産 上州牛肩ロース (650g)

※写真の盛り付けイメージでナイフ、フォーク、箸、お箸は商品に含まれておりません。

さらに!! JAでんきは お得 がいっぱい!

01 JAでんきに切替えると年間の電気料金がお得になります!!

※新築・お引っ越し・お引っ越しを3か月間、毎月1,000円(税込)を割引いたします。※2025年3月28日までにご契約の方

02 新規お申込みされた方には最大3,000円のお得キャンペーン実施中

※お引当金を毎月220円(税込)を割引いたします。※2025年3月28日までにご契約の方

03 JAが運営するJAでんきと東電パワーガス(ガスプロパン)をセット(同一契約)で契約のお客は基本料金を毎月220円(税込)を割引いたします。※2025年3月28日までにご契約の方

■お問い合わせは最寄りのJAでんき代理店へ

新規申し込みキャンペーン抽選について

2024年11月の抽選会(1回目)は7月～10月までにご契約の方が対象となります。

2025年3月の抽選会(2回目)は11月～2月までにご契約の方が対象となります。

当選者への賞品発送は11月末と3月末の2回となります。尚、当選者発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。

※JAでんきの小売電気事業者は全農エネルギー株式会社です(登録番号A0310)

ZEG 全農エネルギー株式会社 全国農業協同組合連合会

【県本部通信】における個人情報の取扱いについて
「県本部通信」に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。
(あて先) 〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp